

Web コンテンツフィルタサービス 利用・管理マニュアル

「お客さまシステム管理者さま向け」

2023 年 06 月 15 日 Version 4.1

ソニービズネットワークス株式会社

目次

1 マニュアルの概要	5
2 ご利用にあたっての注意点	7
2-1 注意事項	7
3 管理サーバへのログインおよび基本設定.....	8
3-1 管理サーバへログインする.....	8
3-2 IP アドレスを確認する.....	9
3-3 アカウント・パスワードを変更する	9
4 フィルタールの設定(簡易設定)	10
4-1 カテゴリルールを登録する.....	10
4-2 カテゴリルールを設定する.....	10
4-3 スケジュールルールを登録する	13
4-4 スケジュールの基本設定を変更する.....	13
4-5 スケジュールの時間帯設定を登録する	14
5 フィルタールの設定(詳細設定)	15
5-1 カテゴリルールを変更する.....	15
5-2 カテゴリルールのルール情報を変更する	15
5-3 カテゴリルールを複製する.....	16
5-4 カテゴリルールを削除する.....	16
5-5 スケジュールの時間帯設定を変更、削除する	16
5-6 スケジュールルールのルール情報を変更する	17
5-7 スケジュールルールを複製する.....	17
5-8 スケジュールルールを削除する.....	18
6 例外 URL の設定	19
6-1 例外 URL ルールを登録する	19
6-2 例外 URL を設定する	19
6-3 例外 URL ルールをグループに適用する	25
6-4 例外 URL を変更する	25
6-5 例外 URL を削除する	26
6-6 例外 URL を一括処理する.....	26
6-7 例外 URL ルールのルール情報を変更する.....	29
6-8 例外 URL ルールを複製する	29
6-9 例外 URL ルールを削除する	29
7 例外サービスの設定	30
7-1 例外サービスルールを登録する	30
7-2 例外サービスを設定する	30

7-3 例外サービスを登録する	31
7-4 例外サービス一覧の操作方法	32
7-5 例外サービスを変更する	33
7-6 例外サービスを削除する	33
7-7 例外サービスルールのルール情報を変更する	34
7-8 例外サービスルールを複製する	34
7-9 例外サービスルールを削除する	35
8 優先カテゴリの設定	35
8-1 優先カテゴリルールを登録する	35
8-2 優先カテゴリを設定する	35
8-3 優先カテゴリルールをグループに適用する	37
8-4 優先カテゴリを変更する	38
8-5 優先カテゴリを削除する	38
8-6 優先カテゴリルールのルール情報を変更する	39
8-7 優先カテゴリルールを複製する	39
8-8 優先カテゴリルールを削除する	40
9 ブラウザ規制の設定	40
9-1 ブラウザ規制ルールを登録する	40
9-2 ブラウザを設定する	40
9-3 ブラウザ規制ルールをグループに適用する	42
9-4 ブラウザ規制ルールのルール情報を変更する	43
9-5 ブラウザ規制ルールを複製する	43
9-6 ブラウザ規制ルールを削除する	44
10 検索キーワード規制の設定	44
10-1 検索キーワード規制ルールを登録する	44
10-2 検索キーワードを設定する	45
10-3 検索キーワード規制ルールをグループに適用する	45
10-4 検索キーワード規制ルールのルール情報を変更する	46
10-5 検索キーワード規制ルールを複製する	46
10-6 検索キーワード規制ルールを削除する	47
11 書き込みキーワード規制の設定	47
11-1 書き込みキーワード規制ルールを登録する	47
11-2 書き込みキーワードを設定する	48
11-3 書き込みキーワード規制ルールをグループに適用する	48
11-4 書き込みキーワード規制ルールのルール情報を変更する	49
11-5 書き込みキーワード規制ルールを複製する	49

11-6 書き込みキーワード規制ルールを削除する.....	50
12 規制画面の設定.....	50
12-1 規制画面ルールを登録する.....	50
12-2 規制画面を設定する.....	51
12-3 規制画面ルールをグループに適用する.....	52
12-4 規制画面ルールを変更する.....	52
12-5 規制画面ルールのルール情報を変更する.....	52
12-6 規制画面ルールを複製する.....	53
12-7 規制画面ルールを削除する.....	53
13 規制オプションの設定.....	54
13-1 規制オプションルールを登録する.....	54
13-2 規制/一時解除を設定する.....	54
13-3 書き込み許容サイズを設定する.....	56
13-4 規制画面オプションルールをグループに適用する.....	56
13-5 規制オプションルールのルール情報を変更する.....	57
13-6 規制オプションルールを複製する.....	57
13-7 規制オプションルールを削除する.....	58
14 URL カテゴリ確認.....	59
14-1 URL カテゴリ確認.....	59
14-2 URL カテゴリ変更申請.....	59
14-3 規制 URL の申請.....	59
15 アクセスログの管理.....	60
15-1 現在のアクセスログを閲覧する.....	60
15-2 ローテート済みアクセスログをダウンロード、削除する.....	61
15-3 アクセスログのフォーマット.....	62
16 サービスを利用するための設定.....	64
16-1 プロキシサーバがある場合の設定.....	64
16-2 プロキシサーバがない場合の設定 (例: Windows Internet Explorer).....	65

1 マニュアルの概要

本マニュアルは、Web コンテンツフィルタサービスをご利用になるための手順について説明しています。お客さまの技術担当者さまにおいて、利用開始・設定変更の際にご覧ください。マニュアルの構成は以下のようになっております。番号・項目名は目次に対応しております。

番号	項目名	説明
2	ご利用にあたっての注意点	サービスご利用にあたっての注意事項が記載されております。あらかじめ内容のご確認をお願いします。
3	管理サーバへのログインおよび基本設定	管理サーバへのログイン方法をご確認いただけます。
4	フィルタールールの設定(簡易設定)	サービスご利用にあたって必要となるカテゴリルールの作成、スケジュール作成方法をご確認いただけます。
5	フィルタールールの設定(詳細設定)	カテゴリルールとスケジュールの詳細設定方法をご確認いただけます。
6	例外 URL の設定	例外 URL の設定方法をご確認いただけます。例外 URL は特定 URL の閲覧を規制・許可する時に使用します。URL はワイルドカード指定でも設定できるため、頻繁に URL が変更されるコンテンツへのアクセス対応もできます。
7	優先カテゴリの設定	優先カテゴリの設定方法をご確認いただけます。優先カテゴリ機能を利用することで複数のカテゴリの組み合わせによる判定基準を作成できます。
8	ブラウザ規制の設定	ブラウザ規制の設定方法をご確認いただけます。ブラウザ規制を利用することで、特定のブラウザを規制することや、特定のブラウザだけを許可することができます。
9	検索キーワード規制の設定	検索キーワード規制の設定方法をご確認いただけます。検索キーワード規制を利用することで、検索エンジンなどで使用する検索キーワードが、事前に登録したキーワードと合致している場合に検索の通信を規制することができます。
10	書き込みキーワード規制の設定	書き込みキーワード規制の設定方法をご確認いただけます。書き込みキーワード規制を利用することで、掲示板などに対して書き込むキーワードが、事前に登録したキーワードと合致している場合に書き込みの通信を規制することができます。
11	規制画面の設定	規制画面で使用する画像、メッセージのカスタマイズ方法についてご確認いただけます。

番号	項目名	説明
12	規制オプションの設定	一時解除時間の設定や、カテゴリに該当するすべてのサイトへの書き込みを規制するなどのオプション機能の設定方法をご確認いただけます。
13	URL カテゴリ確認	特定の URL が規制データベースに登録されていることの確認ができます。登録されていないURLの登録申請方法や、登録されたカテゴリを変更したい場合の申請方法についてもご確認いただけます。
14	アクセスログの管理	アクセスログの閲覧・ダウンロード方法やログフォーマットについての説明をご確認いただけます。
15	サービスを利用するための設定	プロキシサーバがある場合、ない場合の環境設定についてご確認いただけます。

2 ご利用にあたっての注意点

2-1 注意事項

[1] 事前設定

サービスのご利用にあたり、「15 サービスを利用するための設定」を必ず一読ください。

[2] https サイトの規制

https のサイトを規制対象に設定した場合、以下の制限事項がありますのでご注意ください。許可カテゴリであれば、通常どおり閲覧可能となります。

- 規制画面表示時に証明書の警告が表示されます。
これは、Web ブラウザが元のアクセス先のサイト名と規制画面のサイト名が一致していないと認識して表示するものですので、規制動作に問題はありません。
- 書き込みの規制は行えません。書き込みが可能になります。
- HTTPS サイトの POST ログは出力できません。
- パス部を含む HTTPS サイトの例外 URL 登録はできません。(例外 URL に登録できるのはドメイン部のみとなります)

[3] 管理サーバへのアクセスについて

管理サーバ(<https://www.filter.bit-drive.ne.jp:8443>)へは、フィルタサーバを介してアクセスしないようにお願いします。誤って全てのサイトを規制にしてしまった場合など、管理サーバにアクセス出来なくなる恐れがあります。

- ブラウザのプロキシ設定において、例外リストに「www.filter.bit-drive.ne.jp」を記入してください。
- 社内プロキシも、可能な限り、管理サーバへは上位プロキシのフィルタサーバ経由ではなく社内プロキシから直接アクセスするように設定してください。

[4] ご利用できない機能について

以下の機能につきましては、弊社サービスではご提供しておりませんので、ご利用できません。

機能	場所
規制解除申請一覧	[規制解除申請管理]-[規制解除申請一覧]
上位グループ参照	[グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]
下位グループ強制参照	[グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]
例外 URL 参照	[グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]
カテゴリ設定制限	[グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]
グループを追加	[グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]
ユーザー一括処理	[グループ/ユーザ管理]-[ユーザー一括処理]

3 管理サーバへのログインおよび基本設定

3-1 管理サーバへログインする

- [1] Web ブラウザを起動し、<https://www.filter.bit-drive.ne.jp:8443/>にアクセスします。
- [2] 「アカウント」に「コンテンツフィルタ ID¥admin」と入力します。
 - 「コンテンツフィルタID」は、弊社からお送りしております「ご利用ID 確定のお知らせ」メールに記述されています。
- [3] 「パスワード」に「パスワード」を入力します。
 - 「パスワード」は、弊社からお送りしております「コンテンツフィルタ ID」のパスワードのお知らせ」メールに記述されています。
- [4] 「ログイン」をクリックします。



アカウント	<input type="text" value="CF99999-99\admin"/>
パスワード	<input type="password" value="....."/>
言語	<input type="text" value="Japanese"/> ▼
<input type="button" value="ログイン"/>	

3-2 IP アドレスを確認する

[1] [グループ/ユーザ管理]-[IP アドレス有効範囲]をクリックします。

[IP アドレス有効範囲]が表示されます。

- フィルタサーバにアクセス可能な IP アドレスの範囲をご確認ください。
- 他社回線をご利用の方は、申請したアドレスが含まれているかご確認ください。

3-3 アカウント・パスワードを変更する

[1] [グループ/ユーザ管理]-[ユーザ管理]をクリックします。

[ユーザ管理]が表示されます。

[2] 変更対象のアカウント名をクリックします。

[アカウント詳細]が表示されます。

[3] 「編集」をクリックします。

[アカウント情報編集]が表示されます。

- 「admin」部分を変更する場合は、「アカウント名」に変更後の文字列を入力します。
- 「パスワード」を変更する場合は、「パスワード」および「パスワード(確認)」に入力します。

[4] [保存]ボタンをクリックします。

4 フィルタールの設定(簡易設定)

- サービスご利用にあたって必要となるカテゴリルールの作成、スケジュール作成方法をご確認いただけます。

4-1 カテゴリルールを登録する

カテゴリルールを登録します。

- [1] [個別アクセス管理]-[カテゴリ設定]をクリックします。

[カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

- [3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / : ; ? < > | ")は使用できません。

- [4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが登録され、[所有ルール一覧]が表示されます。

4-2 カテゴリルールを設定する

カテゴリルールを設定します。

- [1] [個別アクセス管理]-[カテゴリ設定]をクリックします。

[カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、カテゴリルールを設定するルールをクリックします。

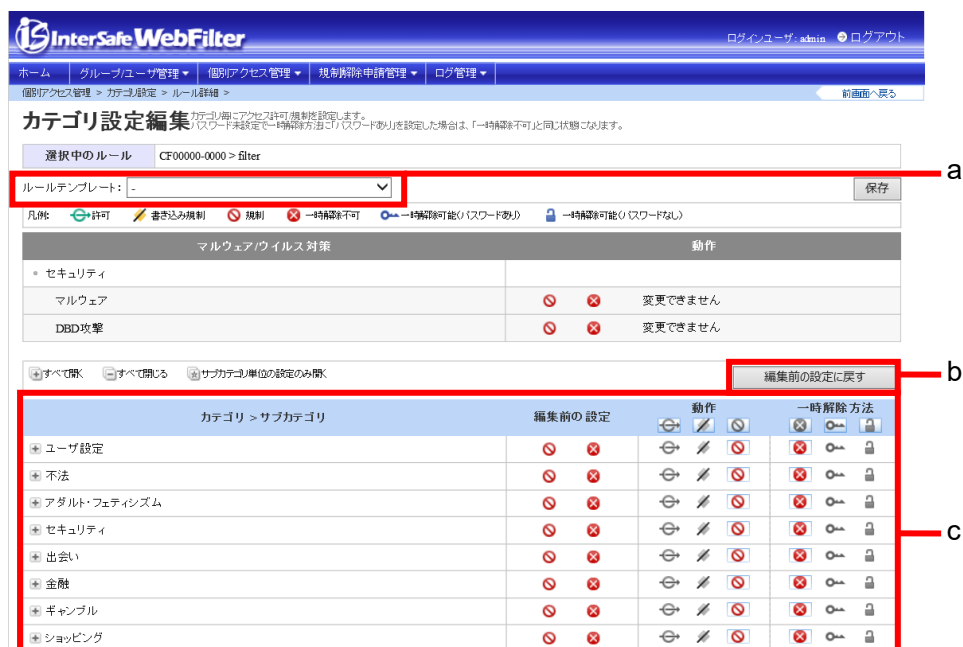
[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [カテゴリ設定]タブをクリックします。

- [4] [編集]ボタンをクリックします。

[カテゴリ設定編集]が表示されます。

[5] 規制内容を設定します。



InterSafe WebFilter

ログインユーザ: admin ログアウト

ホーム グループユーザ管理 個別アクセス管理 規制解除申請管理 ログ管理

個別アクセス管理 > カテゴリ設定 > ルール詳細 > 前画面へ戻る

カテゴリ設定編集

カテゴリー別規制内容にアクセス許可/拒絶を設定します。
（パスワード未設定で一時解除方法あり/パスワードありで設定した場合、一時解除不可と同じ状態になります。）

選択中のルール CF00000-0000 > filter

ルールテンプレート: [] 保存

凡例: [許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]

マルウェア/ウイルス対策

動作

セキュリティ	マルウェア	DBID攻撃
[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]

[すべて開く] [すべて閉じる] [サブカテゴリ/単位の設定のみ開く] [編集前の設定に戻す]

カテゴリ > サブカテゴリ	編集前の設定	動作	一時解除方法
[+] ユーザ設定	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] 不法	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] アダルト・フェティシズム	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] セキュリティ	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] 出会い	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] 金融	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] ギャンブル	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]
[+] ショッピング	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]	[許可] [書き込み規制] [規制] [一時解除不可] [一時解除可能/パスワードあり] [一時解除可能/パスワードなし]

a.ルールテンプレート	登録するルールのベースとするルールを選択します。
b.[編集前の設定に戻す]ボタン	編集前の規制内容に戻します。
c.規制内容	<p>カテゴリ別の規制内容を設定します。</p> <p>カテゴリは、メインカテゴリとサブカテゴリから構成されます。</p> <p>サブカテゴリごとに規制内容を設定する場合には、カテゴリ名の左にある[+]をクリックします。[-]をクリックすると、サブカテゴリの表示を隠します。</p> <p>編集前の設定の列には、ルールを読み込んだ時点の設定が表示されます。</p> <p>タイトル行にある規制内容アイコンをクリックすると、すべてのカテゴリの規制内容を一括して変更できます。</p>

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

● 規制内容

規制内容には、「動作の規制レベル」と「一時解除方法の規制レベル」があります。

動作の規制レベル	動作		一時解除方法の規制レベル	一時解除方法		説明
ゆるい ↓ 厳しい		許可	なし	なし		自由にアクセスを許可します。
		書き込み規制	ゆるい ↓ 厳しい		一時解除可能(パスワードなし)	規制画面を表示しますが、一定時間だけ掲示板などへの書き込みができます。閲覧は可能です。
					一時解除可能(パスワードあり)	掲示板などへの書き込みするためのパスワード(一時解除パスワード)を設定して、書き込みを制限できます。閲覧は可能です。
					一時解除不可	掲示板などへの書き込みを禁止します。閲覧は可能です。
		規制	ゆるい ↓ 厳しい		一時解除可能(パスワードなし)	規制画面を表示しますが、一定時間だけ閲覧ができます。
					一時解除可能(パスワードあり)	閲覧するためのパスワード(一時解除パスワード)を設定して、アクセスを制限できます。
					一時解除不可	アクセスを規制して、規制画面を表示します。

4-3 スケジュールルールを登録する

スケジュールルールを登録します。

- [1] [個別アクセス管理]-[スケジュール設定]をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

- [2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

- [3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ? < > | ")は使用できません。

- [4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

4-4 スケジュールの基本設定を変更する

基本設定を変更する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[スケジュール設定]をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、スケジュールの基本設定を変更するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [スケジュール設定]タブをクリックします。

- [4] [編集]ボタンをクリックします。

[スケジュール設定編集]が表示されます。

[スケジュール設定編集]では、スケジュールの基本設定の変更と時間帯設定の登録が可能です。

- [5] [基本のカテゴリ設定]で、スケジュールの基本設定を設定します。

所有グループ	基本設定として適用するカテゴリルールを所有しているグループを選択します。
ルール名	基本設定として適用するカテゴリルールを所有しているグループのルール名を選択します。 [確認]ボタンをクリックすると、[カテゴリ設定]画面が別ウィンドウで表示されます。選択したカテゴリルールの規制内容を確認できます。

- [6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

4-5 スケジュールの時間帯設定を登録する

新しい時間帯設定を登録する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[スケジュール設定]をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、スケジュールの時間帯設定を登録するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [スケジュール設定]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[スケジュール設定編集]が表示されます。

[5] [時間帯別のカテゴリ設定]-[時間帯を追加]をクリックします。

[時間帯別のカテゴリ設定]に[1]の時間帯設定が追加されます。

[6] [時間帯別のカテゴリ設定]の[1]で、時間帯設定を設定します。

適用する曜日、時間帯、ルールを設定します。

曜日	特定の曜日に時間帯設定を適用する場合は、[指定する]チェックボックスをオンにして、設定したい曜日をチェックします。[指定する]チェックボックスをオフにすると、すべての曜日に時間帯設定が適用されます。
時間	時間帯設定を適用する時間を設定します。
カテゴリ設定	時間帯設定として適用するカテゴリルールを所有しているグループとルール名を選択します。 [確認]ボタンをクリックすると、[カテゴリ設定]画面が別ウィンドウで表示されます。選択したカテゴリルールの規制内容を確認できます。

注意:

- 時間帯設定は 0:00～24:00 までの範囲で設定できます。24:00 以降の設定は 2 つの設定に分けてください。
- 複数の時間帯設定を登録する場合、時間が重なる設定は登録できません。

[7] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[8] [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

5 フィルタルールの設定(詳細設定)

- カテゴリルールとスケジュールの詳細設定方法をご確認いただけます。

5-1 カテゴリルールを変更する

登録したカテゴリルールを変更する方法について説明します。

- [1] **[個別アクセス管理]-[カテゴリ設定]**をクリックします。

[カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、変更するカテゴリルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **[カテゴリ設定]**タブをクリックします。

- [4] **[編集]**ボタンをクリックします。

[カテゴリ設定編集]が表示されます。

- [5] 規制内容を変更します。

- [6] **[保存]**ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] **[OK]**ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

5-2 カテゴリルールのルール情報を変更する

登録したカテゴリルールのルール情報を変更する方法について説明します。

- [1] **[個別アクセス管理]-[カテゴリ設定]**をクリックします。

[カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更するカテゴリルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **[ルール情報]**タブをクリックします。

- [4] **[編集]**ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

- [5] ルール情報を変更します。

- [6] **[保存]**ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] **[OK]**ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

5-3 カテゴリルールを複製する

登録したカテゴリルールを複製する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【カテゴリ設定】**をクリックします。

[カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] **所有ルール一覧から、複製するカテゴリルール**をクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **【このルールを複製】**をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

- [4] **ルール情報を変更**します。

- [5] **【保存】ボタン**をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [6] **【OK】ボタン**をクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

5-4 カテゴリルールを削除する

登録したカテゴリルールを削除する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【カテゴリ設定】**をクリックします。

[カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] **所有ルール一覧から、削除するカテゴリルール**をクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **【ルール情報】タブ**をクリックします。

- [4] **【削除】ボタン**をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] **【OK】ボタン**をクリックします。

カテゴリルールが削除され、[カテゴリ設定]に戻ります。選択しているグループ内のカテゴリルールがすべて削除されると、「カテゴリルールが存在しません。」と表示されます。

5-5 スケジュールの時間帯設定を変更、削除する

時間帯設定を変更、削除する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【スケジュール設定】**をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

- [2] **所有ルール一覧から、スケジュールの時間帯設定を変更、削除するルール**をクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [スケジュール設定]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[スケジュール設定編集]が表示されます。

[5] [時間帯別のカテゴリ設定]で、変更する場合は時間帯設定を変更し、削除する場合は[削除]チェックボックスをオンにします。

複数の時間帯設定を変更し、複数の[削除]チェックボックスをオンにした場合、同時に複数の時間帯設定を変更、削除できます。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更または削除した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

5-6 スケジュールルールのルール情報を変更する

登録したスケジュールルールのルール情報を変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[スケジュール設定]をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更するスケジュールルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

[5] ルール情報を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

5-7 スケジュールルールを複製する

登録したスケジュールルールを複製する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[スケジュール設定]をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、複製するスケジュールルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

[4] ルール情報を変更します。

[5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

5-8 スケジュールルールを削除する

登録したスケジュールルールを削除する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[スケジュール設定]をクリックします。

[スケジュール設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、削除するスケジュールルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

スケジュールルールが削除され、[スケジュール設定]に戻ります。選択しているグループ内のスケジュールルールがすべて削除されると、「スケジュールルールが存在しません。」と表示されます。

6 例外 URL の設定

- 例外 URL は特定 URL の閲覧を規制・許可する時に使用します。URL はワイルドカード指定でも設定できるため、頻繁に URL が変更されるコンテンツへのアクセス対応もできます。

6-1 例外 URL ルールを登録する

例外 URL ルールを登録します。

- [1] [個別アクセス管理]-[例外 URL 設定]をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

- [3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ? < > | ")は使用できません。

- [4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

6-2 例外 URL を設定する

指定した URL を例外 URL として登録できます。例外 URL に登録すると、以下の機能を使用できます。

- URL データベースに登録されていない URL を個別にカテゴリ登録できます。
- URL データベースに登録されているカテゴリとは異なるカテゴリとして、URL を登録できます。
- 「許可カテゴリ」に URL を登録すると、URL データベースで規制対象の URL でも、自由にアクセスできるようになります。
- 「閲覧のみ許可」に URL を登録すると、URL データベースで規制対象の URL でも、閲覧できるようになります。ただし、書き込みはできません。
- 登録する URL に有効期間を設定することができます。有効期間外の URL はフィルタリングの対象となりません。

- [1] [個別アクセス管理]-[例外 URL 設定]をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、例外 URL を設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [例外 URL 設定]タブをクリックします。

- [4] 例外 URL を設定します。

登録されている例外 URL の一覧が表示されます。例外 URL 一覧は、[絞り込み条件]プルダウンメニューにより、「すべて」、「有効期間内」、「有効期間外」を表示することができます。

[5] [例外 URL を追加]をクリックします。

[例外 URL 登録]が表示されます。

[6] 例外 URL を設定します。

[登録形式]

[登録形式]プルダウンメニューより、「通常 URL」、「IP アドレスレンジ指定 URL」、「ワイルドカード使用 URL」を選択します。

[URL]

[URL]プルダウンメニューより、プロトコルを選択し、例外 URL を登録します。

次の 5 種類のプロトコルに対応しています。

http://	HTTP を使用する URL を入力します。
https://	HTTPS を使用する URL を入力します。
ftp://	FTP over HTTP を使用する URL を入力します。
utext://	規制する文字列を設定する場合に使用します。 入力した文字列が含まれる URL を規制します。
ufile://	末尾から一致する URL を設定する場合に使用します。

注意:

- ドメイン部に「.」を、パス部に「/」を含んだワイルドカード(*)を使用する場合は、[ワイルドカード「*」の検索対象を拡張する]チェックボックスをオンにしてください。
- 「utext」は下記のようなパス部の文字列「CGI」などを規制することを想定しています。
- www.netstar.jp:443/testfolder/CGI/program.html
- 「ufile」は「?」以降のリクエストパラメータ部を除いてファイル部の末尾から一致になります
(「*/abc.cgi?aaa=bbb」の場合は「*/abc.cgi」の末尾から一致)。

[カテゴリ]

「>」の左側のプルダウンメニューを、[メインカテゴリ]プルダウンメニューと呼びます。

「>」の右側のプルダウンメニューを、[サブカテゴリ]プルダウンメニューと呼びます。

- [メインカテゴリ]プルダウンメニュー

指定する URL へのアクセスを許可する場合には、「許可カテゴリ」を選択します。

指定する URL へのアクセスを規制する場合には、規制する URL のカテゴリを選択します。

- [サブカテゴリ]プルダウンメニュー

[メインカテゴリ]プルダウンメニューで選択したカテゴリ内容から、サブカテゴリを選択します。


「許可カテゴリ」のサブカテゴリには、「許可カテゴリ」と「閲覧のみ許可」があります。「閲覧のみ許可」に登録された URL は、URL データベースで「規制」に登録されていても閲覧できるようになります。ただし、書き込みはできません。

[有効期間]

例外 URL の有効期間を設定します。

有効期間を設定しない場合は、[有効期間を設定しない]ラジオボタンをオンにしてください。

有効期間を設定する場合は、[有効期間を設定する]ラジオボタンをオンにし、開始日、終了日を YYYYMMDD で指定してください(YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日)。

開始日、終了日の右側にある  をクリックして表示されるカレンダーから、開始日、終了日を指定することもできます。

[7] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[8] [OK]ボタンをクリックします。

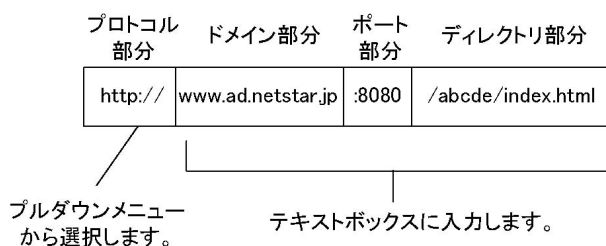
入力した URL が登録され、[ルール詳細]に戻ります。

● 例外 URL の設定について

例外 URL 登録時の設定について説明します。

[通常 URL の場合]

● HTTP、HTTPS、FTP プロトコルの場合



プロトコル部分	プルダウンメニューから選択します。
ドメイン部分	<ul style="list-style-type: none"> 最大半角 128 文字まで入力できます。 大文字で入力した場合、小文字に変換されます。 先頭に半角スペース、「.」を入力した場合、削除して登録されます。 「/」または「:」で始まっている場合、エラーが発生します。 末尾が「.」の場合、エラーが発生します。
ポート部分	<ul style="list-style-type: none"> ポート番号を 1～65535 の範囲で指定できます。 「:」を複数入力した場合、エラーが発生します。 半角数字以外の文字、または範囲外の数値を入力した場合、エラーが発生します。

ディレクトリ部分	<ul style="list-style-type: none"> 最大半角 256 文字まで入力できます。ディレクトリ部分を入力しないで登録した場合、「/」が追加されます。
----------	---

注意:

- ドメイン部分、ポート部分、ディレクトリ部分を入力しない場合、選択したプロトコルを使用するすべての URL が例外 URL と認識され、フィルタリングが実行されます。
- ドメイン部分、ポート部分、ディレクトリ部分に全角文字を入力した場合、エラーが発生します。

例:

「netstar.jp」と指定した場合、次の URL はすべて規制対象になります。

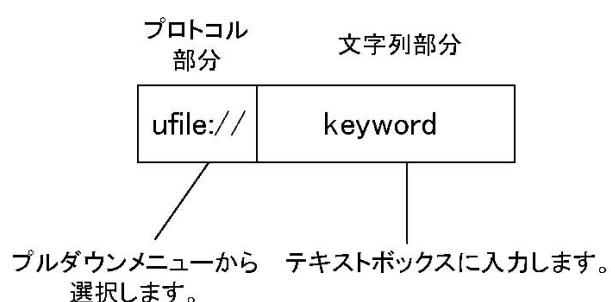
www.netstar.jp

www2.netstar.jp

netstar.jp/abcd/

www.netstar.jp/abcd/efg/

- UTEXT、UFILE プロトコルの場合



プロトコル部分	<p>プルダウンメニューから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> utext:// (文字列規制) リクエスト URL のパスに、文字列部分に設定した文字列が存在する場合にアクセスを規制します。 ufile:// (ファイル名規制) リクエスト URL のパスの末尾に、文字列部分に設定した文字列が存在する場合にアクセスを規制します。
文字列部分	<ul style="list-style-type: none"> 最大半角 256 文字まで入力できます。 全角文字を入力した場合、エラーが発生します。 半角スペース、「”」、「*」を入力した場合、エラーが発生します。

例 1:

「utext://」プロトコルで文字列部分を「chat」と指定した場合、次の URL には「chat」が含まれているため、すべて規制対象になります。

chat.netstar.jp

www.netstar.jp/chatroom

www.netstar.jp/user/chat1.html

例 2:

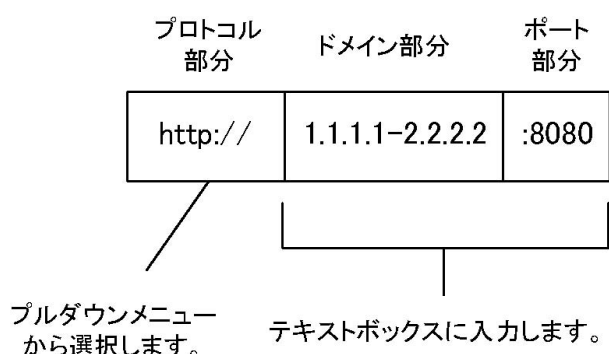
「ufile://」プロトコルで文字列部分を「cgi」と指定した場合、次の URL の末尾は「cgi」のため、すべて規制対象になります。

www.netstar.jp/board.cgi

www.netstar.jp/cgi-bin/board.cgi

[IP アドレスレンジ指定 URL の場合]

- HTTP、HTTPS、FTP プロトコルの場合



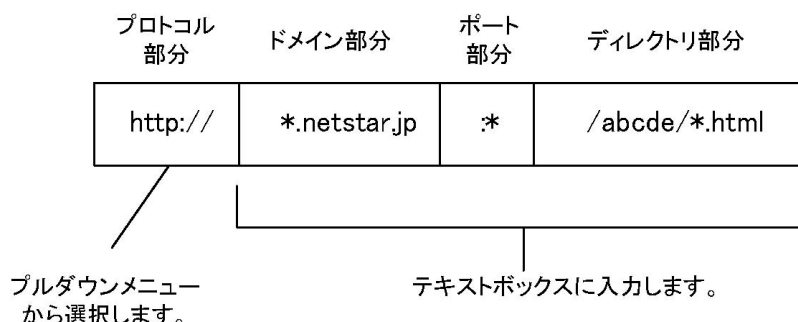
プロトコル部分	プルダウンメニューから選択します。
ドメイン部分	<ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレスを範囲で指定できます。IPv6 アドレスでも指定できます。
ポート部分	<ul style="list-style-type: none"> ● ポート番号を空、または 1～65535 の範囲で指定できます。 ● 半角数字以外の文字、または範囲外の数値を入力した場合、エラーが発生します。 ● ポート番号を指定した場合は、入力した IP アドレスの範囲すべてに影響します。 ● ポート番号を指定しない場合は、すべてのポートで有効になります。

注意:

- ドメイン部分を IPv6 アドレスで指定する場合、例外 URL の設定を参照してください。
- ドメイン部分、ポート部分に全角文字を入力した場合、エラーが発生します。
- UTEXT、UFILE プロトコルは使用できません。
- 登録形式に「IP アドレスレンジ指定 URL」を指定した場合、ディレクトリ部分を入力できません。

[ワイルドカード使用 URL の場合]

- HTTP、HTTPS、FTP プロトコルの場合



プロトコル部分	プルダウンメニューから選択します。
ドメイン部分	<ul style="list-style-type: none"> ● 最大半角 128 文字まで入力できます。 ● 大文字で入力した場合、小文字に変換されます。 ● 先頭に半角スペース、「.」を入力した場合、削除して登録されます。 ● 「/」または「:」で始まっている場合、エラーが発生します。 ● 末尾が「.」の場合、エラーが発生します。 ● ワイルドカード(*)を入力可能です。
ポート部分	<ul style="list-style-type: none"> ● ポート番号を 1～65535 の範囲で指定できます。 ● 「:」を複数入力した場合、エラーが発生します。 ● 半角数字以外の文字、または範囲外の数値を入力した場合、エラーが発生します。 ● ワイルドカード(*)を入力可能です。
ディレクトリ部分	<ul style="list-style-type: none"> ● 最大半角 256 文字まで入力できます。ディレクトリ部分を入力しないで登録した場合、「/」が追加されます。 ● HTTPS プロトコルの場合、[共通アクセス管理]-[HTTPS 規制設定]-[クライアントモジュール方式]または[共通アクセス管理]-[HTTPS 規制設定]-[サーバデコード方式]のどちらかの設定が有効な場合のみ、ディレクトリ部分を登録できます。どちらも無効の場合はディレクトリ部分を入力すると、登録できません。 ● ワイルドカード(*)を入力可能です。

注意:

- ドメイン部分、ポート部分に全角文字を入力した場合、エラーが発生します。
- UTEXT、UFILE プロトコルは使用できません。
- ワイルドカード(*)は 1 文字以上の文字列として使用できます。
- ワイルドカード(*)は「.」や「/」をまたいで判定することはできません。
- [ワイルドカード「*」の検索対象を拡張する]チェックボックスをオンにした場合は、「.」や「/」をまたいで判定することができます。

6-3 例外 URL ルールをグループに適用する

例外 URL ルールの適用方法について説明します。

- [1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。

[グループ管理]が表示されます。

- [2] [適用ルール]-[例外 URL 設定]をクリックします。


[例外 URL 設定]が表示されます。

- [3] [ルール選択]ボタンをクリックします。

[適用ルール選択]が表示されます。


- [4] [所有グループ]から、例外 URL ルールを所有するグループを選択します。

選択されたグループで所有しているルールが一覧表示されます。

- [5] [ルール一覧]の中から、適用するルールの  ボタンをクリックして選択します。

選択されたルールが、画面右側の[適用ルール]に追加表示されます。

注意:

- 適用ルールから外したい場合は、 ボタンをクリックします。
- 適用可能なルールの数は最大 10 件です。

- [6] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] [OK]ボタンをクリックします。

6-4 例外 URL を変更する

登録した例外 URL の変更方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[例外 URL 設定]をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、例外 URL を変更するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [例外 URL 設定]タブをクリックします。

- [4] 例外 URL 一覧から、変更する例外 URL をクリックします。

[例外 URL 編集]が表示されます。

- [5] 例外 URL の設定を変更します。

- [6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

6-5 例外 URL を削除する

登録した例外 URL の削除方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外 URL 設定】**をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、例外 URL を削除するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **【例外 URL 設定】**タブをクリックします。

- [4] 例外 URL 一覧から、削除する例外 URL のチェックボックスをオンにします。

- タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。
- タイトル行のチェックボックスをオフにすると、すべてのチェックボックスがオフになります。

- [5] **【削除】**ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [6] **【OK】**ボタンをクリックします。

例外 URL が削除されます。

6-6 例外 URL を一括処理する

例外 URL を一括で処理する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外 URL 設定】**をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、例外 URL を設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **【一括処理】**タブをクリックします。

[4] 例外 URL を一括処理するための設定をします。

例外 URL をエクスポートする	<p>[例外 URL をエクスポートする]ラジオボタンをオンにし、[実行]ボタンをクリックすると、登録されている例外 URL を指定されたファイルに CSV 形式でエクスポート(出力)します。</p> <p>[ファイル文字コード]プルダウンメニューから、ファイルエンコード(UTF-8、Shift-JIS、EUC_JP)を選択します。</p>
例外 URL をインポートする	<p>[例外 URL をインポートする]ラジオボタンをオンにし、[実行]ボタンをクリックすると、指定されたファイルに記述されている例外 URL をインポートします。</p> <p>[ファイル文字コード]プルダウンメニューから、ファイルエンコード(UTF-8、Shift-JIS、EUC_JP)を選択します。</p> <p>[参照]ボタンをクリックして、インポートするファイルを選択します。</p> <p>[登録方式]プルダウンメニューから、インポート方法(置換、追加)を選択します。「置換」を選択すると、対象のグループに登録されている例外 URL をすべて削除し、ファイルに記述されている例外 URL を一括登録します。「追加」を選択すると、指定されたファイルに記述されている例外 URL を追加登録します。</p>

注意:

- エクスポート時に同じ名前のファイルが存在する場合は、内容が上書きされます。
- 例外 URL 一括処理で読み込むファイルは、次のフィールドで構成されます。
 - フォーマット

グループ名	ルール名	メインカテゴリ名	サブカテゴリ名	例外 URL	登録形式	有効期間(開始)	有効期間(終了)
-------	------	----------	---------	--------	------	----------	----------

● 出力形式

"CF00000-0000"	"例外ルール 1"	"スポーツ"	"レジャー"	"http://sample.bit-drive.jp"	"0"	"20150801"	"20160731"
----------------	-----------	--------	--------	------------------------------	-----	------------	------------

フィールド名	設定内容
グループ名	グループ名を入力します。
ルール名	例外 URL ルール名を入力します。
メインカテゴリ名	メインカテゴリ名を入力します。
サブカテゴリ名	サブカテゴリ名を入力します。
例外 URL	例外 URL を入力します。
登録形式	登録形式を入力します。 0:通常 URL 1:IP アドレスレンジ指定 URL 2:ワイルドカード使用 URL
有効期間(開始)	YYYYMMDD 形式で有効期間を設定します。 (YYYY:西暦、MM:月、DD:日)
有効期間(終了)	YYYYMMDD 形式で有効期間を設定します。 (YYYY:西暦、MM:月、DD:日)

注意:

- ファイルの 1 行目には各項目の名称を入力したヘッダが必要です。
- フィールドは「データ」のように「」(ダブルクォーテーション)で囲み、フィールド同士は「,」(半角カンマ)で区切ります。
- データのないフィールドは空になりますが、フィールドは省略しないでください。フィールドを省略すると、正しく読み込むことができなくなります。
- 不正なフォーマットのファイルを用いた場合、誤った内容が登録されることがあります。

[5] [実行]ボタンをクリックします。

注意:

- インポート、エクスポートとも選択されている例外 URL ルールのみが一括処理の対象となります。

6-7 例外 URL ルールのルール情報を変更する

登録した例外 URL ルールのルール情報を変更する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外 URL 設定】**をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更する例外 URL ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **【ルール情報】**タブをクリックします。

- [4] **【編集】**ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

- [5] **ルール情報**を変更します。

- [6] **【保存】**ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] **【OK】**ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

6-8 例外 URL ルールを複製する

登録した例外 URL ルールを複製する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外 URL 設定】**をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、複製する例外 URL ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] **【このルールを複製】**をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

- [4] **ルール情報**を変更します。

- [5] **【保存】**ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [6] **【OK】**ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

6-9 例外 URL ルールを削除する

登録した例外 URL ルールを削除する方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外 URL 設定】**をクリックします。

[例外 URL 設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、削除する例外 URL ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

例外 URL ルールが削除され、[例外 URL 設定]に戻ります。選択しているグループ内の例外 URL ルールがすべて削除されると、「例外 URL ルールが存在しません。」と表示されます。

7 例外サービスの設定

- グループに適用する例外サービスルールを設定します。
- カテゴリルールの例外として、アクセスを許可するサービスを設定します。
- 「許可」に設定すると、規制対象 URL でも自由にアクセスできるようになります。「閲覧のみ許可」に設定すると、規制対象 URL への閲覧のアクセスを許可します。

7-1 例外サービスルールを登録する

[1] [個別アクセス管理]-[例外サービス設定] をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

[2] グループ一覧から、例外サービスを設定するグループをクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

[3] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

[4] ルール名を入力します。

所有グループ	ルールを所有しているグループ名が表示されます。
ルール名(必須項目)	登録するルール名を入力します(最大半角 20 文字以内)。

ルール名には、次の文字を使用できません。タブ記号、半角記号(¥ / ; ; ? < > | ")

[5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

[7] 登録したルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[8] [例外サービス設定]タブをクリックして設定します。

詳細については、「[例外サービスを設定する](#)」を参照してください。

7-2 例外サービスを設定する

指定したサービスを例外サービスとして登録できます。例外サービスに登録すると、以下の機能を使用できます。

- サービスを「許可」に設定すると、URL データベースで規制対象の URL でも、自由にアクセスできるようになります。
- サービスを「閲覧のみ許可」に設定すると、URL データベースで規制対象の URL でも、閲覧のアクセスを許可します。
- 登録するサービスに有効期間を設定することができます。有効期間外のサービスは例外の対象となりません。

外サービスの設定方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[例外サービス設定] をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

[2] グループ一覧から、例外サービスを設定するグループをクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

[3] 所有ルール一覧から、例外サービスを設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[4] [例外サービス設定]タブをクリックします。

[5] 例外サービスを設定します。

登録されている例外サービスの一覧が表示されます。

例外サービスの登録、変更、削除ができます。手順については、次の表を参照してください。

例外サービスを登録する	「例外サービスを登録する」
例外サービス一覧の操作	「例外サービス一覧の操作方法」
例外サービスを変更する	「例外サービスを変更する」
例外サービスを削除する	「例外サービスを削除する」

7-3 例外サービスを登録する

例外サービスの登録方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[例外サービス設定] をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

[2] グループ一覧から、例外サービスを登録するグループをクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

[3] 所有ルール一覧から、例外サービスを登録するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。


[4] [例外サービス設定]タブをクリックします。

[5] [例外サービス設定を追加]をクリックします。

[例外サービス登録]が表示されます。

[6] [サービス一覧]で登録するサービスの[➡]ボタンをクリックします。

[選択済みサービス]にサービスが追加されます。

- サービスを検索する場合は、[サービス名]に名前を入力して[検索]ボタンをクリックします。
- [サービスカテゴリ名] プルダウンメニューでカテゴリを選択し、サービスを絞り込むことができます。
- 選択済みサービスから外したい場合は、ボタンをクリックします。

[7] [動作設定]で例外サービスを設定します。

[動作]

例外サービスの動作を以下の中から設定します。

許可：

サービスへのすべてのアクセスを許可します。

閲覧のみ許可：

サービスへの閲覧のアクセスを許可します。


[有効期限]

例外サービスの有効期間を設定します。

有効期間を設定しない場合は、[有効期間を設定しない]ラジオボタンをオンにします。

有効期間を設定する場合は、[有効期間を設定する]ラジオボタンをオンにし、開始日、

終了日を YYYYMMDD で指定します(YYYY:西暦、MM:月、DD:日)。

開始日、終了日の右側にあるをクリックして表示されるカレンダーから、開始日、終了日を指定することもできます。

[8] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [選択済みサービス]が空欄の場合、エラーが表示されます。

[9] [OK]ボタンをクリックします。

入力したサービスが登録され、[ルール詳細]に戻ります。

7-4 例外サービス一覧の操作方法

例外サービス一覧の操作方法について説明します。

[1] 1 画面に表示する例外サービスの表示件数を変更できます。

[2] 現在の例外サービス一覧を、タイトル行をクリックして並び替えができます。

ソート項目は、[登録]、[動作]、[サービス名]、[サービスカテゴリ名]、[登録日]、[コメント][状態]のタイトル行から選択できます。

選択されたソート項目は、△(昇順)で表示されます。

[3] [削除]ボタンをクリックすると、例外サービス一覧から、チェックボックスをオンにしたサービスを削除します。

「[例外サービスを削除する](#)」を参照してください。

[4] 例外サービス一覧から、例外サービスをクリックすると、例外サービスの設定を変更できます。

次の「[例外サービスを変更する](#)」を参照してください。

7-5 例外サービスを変更する

登録した例外サービスの変更方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外サービス設定】** をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

- [2] **グループ一覧から、例外サービスを変更するグループ** をクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

- [3] **所有ルール一覧から、例外サービスを変更するルール** をクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [4] **【例外サービス設定】タブ** をクリックします。

- [5] **例外サービス一覧から、変更する例外サービス** をクリックします。

[例外サービス編集]が表示されます。

- [6] **例外サービスの設定を変更** します。

例外サービスの設定項目については、「[例外サービスを登録する](#)」を参照してください。

- [7] **【保存】ボタン** をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [保存] ボタンをクリックしないと、変更した内容は保存されません。設定を変更する場合は、必ず [保存] ボタンをクリックしてください。

- [8] **【OK】ボタン** をクリックします。

例外サービスの設定項目については、「[例外サービスを登録する](#)」を参照してください。

7-6 例外サービスを削除する

登録した例外サービスの削除方法について説明します。

- [1] **【個別アクセス管理】-【例外サービス設定】** をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

- [2] **グループ一覧から、例外サービスを削除するグループ** をクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

- [3] **所有ルール一覧から、例外サービスを削除するルール** をクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [4] **【例外サービス設定】タブ** をクリックします。

- [5] **例外サービス一覧から、削除する例外サービスのチェックボックス** をオンにします。

タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。

タイトル行のチェックボックスをオフにすると、すべてのチェックボックスがオフになります。

- [6] **【削除】ボタン** をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] **【OK】ボタン** をクリックします。

例外サービスが削除されます。

7-7 例外サービスルールのルール情報を変更する

登録した例外サービスルールのルール情報を変更する方法について説明します。

- [1] **「個別アクセス管理」-「例外サービス設定」** をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

- [2] **グループ一覧から、例外サービスを変更するグループ** をクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

- [3] **所有ルール一覧から、例外サービスを変更するルール** をクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [4] **「ルール情報」タブ** をクリックします。

- [5] **「編集」ボタン** をクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

- [6] **ルール情報を変更** します。

- [7] **「保存」ボタン** をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- **「保存」ボタン** をクリックしないと、変更した内容は保存されません。設定を変更する場合は、必ず **「保存」ボタン** をクリックしてください。

- [8] **「OK」ボタン** をクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

7-8 例外サービスルールを複製する

登録した例外サービスルールを複製する方法について説明します。

- [1] **「個別アクセス管理」-「例外サービス設定」** をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

- [2] **グループ一覧から、例外サービスを複製するグループ** をクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

- [3] **所有ルール一覧から、例外サービスを複製するルール** をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

- [4] **「このルールを複製」** をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

- [5] **ルール情報を変更** します。

- [6] **「保存」ボタン** をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- **「保存」ボタン** をクリックしないと、変更した内容は保存されません。設定を変更する場合は、必ず **「保存」ボタン** をクリックしてください。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、複製したルールの[ルール詳細]が表示されます。

7-9 例外サービスルールを削除する

登録した例外サービスルールを削除する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[例外サービス設定] をクリックします。

[例外サービス設定]が表示されます。

[2] グループ一覧から、例外サービスを登録するグループをクリックします。

[所有ルール一覧]が表示されます。

[3] 所有ルール一覧から、例外サービスを登録するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[4] [ルール情報]タブをクリックします。

[5] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

例外サービスルールが削除され、[例外サービス設定]に戻ります。選択しているグループ内の例外サービスルールがすべて削除されると、「例外サービスルールが存在しません。」と表示されます。

8 優先カテゴリの設定

- 優先カテゴリ機能を利用することで複数のカテゴリの組み合わせによる判定基準を作成できます。

8-1 優先カテゴリルールを登録する

優先カテゴリルールを登録します。

[1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

[3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ? < > | ")は使用できません。

[4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

8-2 優先カテゴリを設定する

優先カテゴリの設定方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、優先カテゴリを設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [優先カテゴリ設定]タブをクリックします。

[4] [優先カテゴリ設定を追加]をクリックします。

[優先カテゴリ設定登録]が表示されます。

[5] 優先カテゴリを設定します。

[カテゴリ 1]

- [メインカテゴリ]プルダウンメニュー

優先するメインカテゴリを選択します。

- [サブカテゴリ]プルダウンメニュー

[メインカテゴリ]プルダウンメニューで選択したカテゴリ内容から、サブカテゴリを選択します。

[カテゴリ 2]

以下すべてのカテゴリを選択する	[以下すべてのカテゴリを選択する]ラジオボタンをオンにすると、表示されているすべてのカテゴリを選択します。
カテゴリを 1 つ選択する	<p>[カテゴリを 1 つ選択する]ラジオボタンをオンにすると、1 つのカテゴリを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [メインカテゴリ]プルダウンメニュー 優先するメインカテゴリカテゴリを選択します。 • [サブカテゴリ]プルダウンメニュー [メインカテゴリ]プルダウンメニューで選択したカテゴリ内容から、サブカテゴリを選択します。

[動作]

規制内容を設定します。

- [動作]プルダウンメニューより、「許可」、「書き込み規制」、「規制」を選択します。
- [動作]プルダウンメニューで「書き込み規制」、「規制」を選択した場合、[一時解除方法]プルダウンメニューより、「不可」、「可能(パスワードあり)」、「可能(パスワードなし)」を選択します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

入力した優先カテゴリが登録され、[ルール詳細]に戻ります。

8-3 優先カテゴリルールをグループに適用する

優先カテゴリルールの適用方法について説明します。

[1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。

[グループ管理]が表示されます。

[2] [適用ルール]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[3] [ルール選択]ボタンをクリックします。

[適用ルール選択]が表示されます。

[4] 適用ルールを選択します。

優先カテゴリを設定しない	優先カテゴリを設定しない場合に選択します。選択した場合、優先カテゴリルールは適用されません。
個別にルールを適用する	個別に優先カテゴリルールを適用する場合に選択します。 選択すると、優先カテゴリルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択した優先カテゴリルールの詳細が画面の下部に表示されます。

[5] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

8-4 優先カテゴリを変更する

登録した優先カテゴリの変更方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、優先カテゴリを変更するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [優先カテゴリ設定]タブをクリックします。

[4] 優先カテゴリ一覧から、変更する優先カテゴリをクリックします。

[優先カテゴリ設定編集]が表示されます。

[5] 優先カテゴリの設定を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

8-5 優先カテゴリを削除する

登録した優先カテゴリの削除方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、優先カテゴリを削除するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [優先カテゴリ設定]タブをクリックします。

[4] 優先カテゴリ一覧から、削除する優先カテゴリのチェックボックスをオンにします。

- タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。

- タイトル行のチェックボックスをオフにすると、すべてのチェックボックスがオフになります。

[5] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

優先カテゴリが削除されます。

8-6 優先カテゴリルールのルール情報を変更する

登録した優先カテゴリルールのルール情報を変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更する優先カテゴリルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

[5] ルール情報を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

8-7 優先カテゴリルールを複製する

登録した優先カテゴリルールを複製する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、複製する優先カテゴリルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

[4] ルール情報を変更します。

[5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

8-8 優先カテゴリルールを削除する

登録した優先カテゴリルールを削除する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]をクリックします。

[優先カテゴリ設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、削除する優先カテゴリルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [ルール情報]タブをクリックします。

- [4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

優先カテゴリルールが削除され、[優先カテゴリ設定]に戻ります。選択しているグループ内の優先カテゴリルールがすべて削除されると、「優先カテゴリルールが存在しません。」と表示されます。

9 ブラウザ規制の設定

- ブラウザ規制を利用することで、特定のブラウザを規制することや、特定のブラウザだけを許可することができます。

9-1 ブラウザ規制ルールを登録する

ブラウザ規制ルールを登録します。

- [1] [個別アクセス管理]-[ブラウザ規制設定]をクリックします。

[ブラウザ規制設定]が表示されます。

- [2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

- [3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ? < > | ")は使用できません。

- [4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

9-2 ブラウザを設定する

ブラウザからのアクセスを規制、または許可する動作については、[編集]ボタンをクリックして表示される

[ブラウザ規制設定編集]で設定します。指定するブラウザは、[登録ブラウザ]で登録します。

[1] ブラウザを登録する

1. [編集]ボタンをクリックします。

[ブラウザ規制設定編集]が表示されます。

2. 「登録ブラウザ」からのアクセスの規制/許可を設定します。

登録ブラウザを規制する	登録ブラウザからのアクセスを規制します。
登録ブラウザを許可する	登録ブラウザからのアクセスだけを許可し、他のすべてのブラウザからのアクセスを規制します。

3. [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

5. [登録ブラウザ]-[ブラウザを追加]をクリックします。

[ブラウザ登録]画面が別ウィンドウで表示されます。

6. ブラウザ情報を入力します。

[User-Agent]には、ブラウザの User-Agent を入力します。

[サンプル]のプルダウンメニューからブラウザ名を選択すると、[User-Agent]に代表的なブラウザの User-Agent が自動的に入力されます。

User-Agent の指定は、部分一致が可能です。

部分一致を利用して、次のように User-Agent を設定できます。

Web ブラウザ	User-Agent に含まれる文字列
Internet Explorer 9.0	MSIE 9
Internet Explorer 10.0	MSIE 10
Internet Explorer 11.0	Trident/7.0
Internet Explorer Edge	Edge
Firefox	Firefox
Google Chrome	Chrome

注意:

- 指定した文字列が User-Agent と部分一致で合致した場合に規制が有効になります。大文字、小文字は区別されるため、文字列は正確に指定してください。ワイルドカード(*)を入力可能です。[コメント]には、User-Agent に対するコメントを入力します。

7. [保存]ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されます。
8. [OK]ボタンをクリックします。
入力したブラウザ情報が登録されます。

[2] 登録ブラウザの設定を変更する

1. [登録ブラウザ]から、変更するブラウザ情報をクリックします。
[ブラウザ編集]画面が別ウィンドウで表示されます。
2. ブラウザ情報を変更します。
3. [保存]ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されます。
4. [OK]ボタンをクリックします。
ブラウザ情報が変更されます。
[OK]ボタンをクリックします。ブラウザ情報が変更されます。

[3] ブラウザ情報を削除する

1. [登録ブラウザ]から、削除するブラウザ情報のチェックボックスをオンにします。
タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。
タイトル行のチェックボックスをオフにすると、すべてのチェックボックスがオフになります。
2. [削除]ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されます。
3. [OK]ボタンをクリックします。
ブラウザ情報が削除されます。

9-3 ブラウザ規制ルールをグループに適用する

ブラウザ規制ルールの適用方法について説明します。

- [1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。
[グループ管理]が表示されます。
- [2] [適用ルール]-[ブラウザ規制設定]をクリックします。
[ブラウザ規制設定]が表示されます。
- [3] [ルール選択]ボタンをクリックします。
[適用ルール選択]が表示されます。

[4] 適用ルールを選択します。

ブラウザ規制を使用しない	ブラウザを規制しない場合に選択します。この場合、すべてのブラウザからのアクセスを許可します。
個別にルールを適用する	個別にブラウザ規制ルールを適用する場合に選択します。 選択すると、ブラウザ規制ルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択したブラウザ規制ルールの詳細が画面の下部に表示されます。

[5] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

9-4 ブラウザ規制ルールのルール情報を変更する

登録したブラウザ規制ルールのルール情報を変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[ブラウザ規制設定]をクリックします。

[ブラウザ規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更するブラウザ規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

[5] ルール情報を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

9-5 ブラウザ規制ルールを複製する

登録したブラウザ規制ルールを複製する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[ブラウザ規制設定]をクリックします。

[ブラウザ規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、複製するブラウザ規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

[4] ルール情報を変更します。

[5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

9-6 ブラウザ規制ルールを削除する

登録したブラウザ規制ルールを削除する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[ブラウザ規制設定]をクリックします。

[ブラウザ規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、削除するブラウザ規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

ブラウザ規制ルールが削除され、[ブラウザ規制設定]に戻ります。選択しているグループ内のブラウザ規制ルールがすべて削除されると、「ブラウザ規制ルールが存在しません。」と表示されます。

10 検索キーワード規制の設定

- 検索キーワード規制を利用することで、検索エンジンなどで使用する検索キーワードが、事前に登録したキーワードと合致している場合に検索の通信を規制することができます。

10-1 検索キーワード規制ルールを登録する

検索キーワード規制ルールを登録します。

[1] [個別アクセス管理]-[検索キーワード規制設定]をクリックします。

[検索キーワード規制設定]が表示されます。

[2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

[3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ? < > | ")は使用できません。

[4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

10-2 検索キーワードを設定する

規制対象とする検索キーワードを設定できます。規制対象とする検索キーワードは、[登録キーワード]で登録します。

[1] 検索キーワードを登録する

1. [登録キーワード]-[キーワードを追加]をクリックします。
[キーワード登録]画面が別ウィンドウで表示されます。

2. 検索キーワードを入力します。
検索キーワードを最大 20 文字で設定します。

3. [保存]ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。
入力した検索キーワード情報が登録されます。

[2] 登録検索キーワードの設定を変更する

1. [登録キーワード]から、変更する検索キーワード情報をクリックします。
[キーワード編集]画面が別ウィンドウで表示されます。

2. 検索キーワード情報を変更します。
3. [保存]ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されます。
4. [OK]ボタンをクリックします。
検索キーワード情報が変更されます。

[3] 検索キーワード情報を削除する

1. [登録キーワード]から、削除する検索キーワード情報のチェックボックスをオンにします。
タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。
2. [削除]ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されます。
3. [OK]ボタンをクリックします。
検索キーワード情報が削除されます。

10-3 検索キーワード規制ルールをグループに適用する

検索キーワード規制ルールの適用方法について説明します。

[1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。

[グループ管理]が表示されます。

[2] [適用ルール]-[検索キーワード規制設定]をクリックします。

[検索キーワード規制設定]が表示されます。

[3] [ルール選択]ボタンをクリックします。

[適用ルール選択]が表示されます。

[4] 適用ルールを選択します。

検索キーワード規制を使用しない	検索キーワードを規制しない場合に選択します。この場合、検索サイトなどにおいて、任意の用語での検索を許可します。
個別にルールを適用する	個別に検索キーワード規制ルールを適用する場合に選択します。 選択すると、検索キーワード規制ルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択した検索キーワード規制ルールの詳細が画面の下部に表示されます。

[5] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

10-4 検索キーワード規制ルールのルール情報を変更する

登録した検索キーワード規制ルールのルール情報を変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[検索キーワード規制設定]をクリックします。

[検索キーワード規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更する検索キーワード規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

[5] ルール情報を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

10-5 検索キーワード規制ルールを複製する

登録した検索キーワード規制ルールを複製する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[検索キーワード規制設定]をクリックします。

[検索キーワード規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、複製する検索キーワード規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

[4] ルール情報を変更します。

[5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

10-6 検索キーワード規制ルールを削除する

登録した検索キーワード規制ルールを削除する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[検索キーワード規制設定]をクリックします。

[検索キーワード規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、削除する検索キーワード規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

検索キーワード規制ルールが削除され、[検索キーワード規制設定]に戻ります。選択しているグループ内の検索キーワード規制ルールがすべて削除されると、「検索キーワード規制ルールが存在しません。」と表示されます。

11 書き込みキーワード規制の設定

- 書き込みキーワード規制を利用することで、掲示板などに対して書き込むキーワードが、事前に登録したキーワードと合致している場合に書き込みの通信を規制することができます。

11-1 書き込みキーワード規制ルールを登録する

書き込みキーワード規制ルールを登録します。

[1] [個別アクセス管理]-[書き込みキーワード規制設定]をクリックします。

[書き込みキーワード規制設定]が表示されます。

[2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

[3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / : ; ? < > | ")は使用できません。

[4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

[6] 登録したルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

11-2 書き込みキーワードを設定する

規制対象とする書き込みキーワードを設定できます。規制対象とする書き込みキーワードは、[登録キーワード]で登録します。

[1] 書き込みキーワードを登録する

1. [登録キーワード]-[キーワードを追加]をクリックします。

[キーワード登録]画面が別ウィンドウで表示されます。

2. 書き込みキーワードを入力します。

書き込みキーワードを最大 20 文字で設定します。

3. [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。

入力した書き込みキーワード情報が登録されます。

[2] 登録書き込みキーワードの設定を変更する

1. [登録キーワード]から、変更する書き込みキーワード情報をクリックします。

[キーワード編集]画面が別ウィンドウで表示されます。

2. 書き込みキーワード情報を変更します。

3. [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

4. [OK]ボタンをクリックします。

書き込みキーワード情報が変更されます。

[3] 書き込みキーワード情報を削除する

1. [登録キーワード]から、削除する書き込みキーワード情報のチェックボックスをオンにします。

- タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。
- タイトル行のチェックボックスをオフにすると、すべてのチェックボックスがオフになります。

2. [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

3. [OK]ボタンをクリックします。

書き込みキーワード情報が削除されます。

11-3 書き込みキーワード規制ルールをグループに適用する

書き込みキーワード規制ルールの適用方法について説明します。

[1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。

[グループ管理]が表示されます。

[2] [適用ルール]-[書き込みキーワード規制設定]をクリックします。

[書き込みキーワード規制設定]が表示されます。

[3] [ルール選択]ボタンをクリックします。

[適用ルール選択]が表示されます。

[4] 適用ルールを選択します。

書き込みキーワード規制を使用しない	書き込みキーワードを規制しない場合を選択します。
個別にルールを適用する	個別に書き込みキーワード規制ルールを適用する場合に選択します。 選択すると、書き込みキーワード規制ルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択した書き込みキーワード規制ルールの詳細が画面の下部に表示されます。

[5] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

11-4 書き込みキーワード規制ルールのルール情報を変更する

登録した書き込みキーワード規制ルールのルール情報を変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[書き込みキーワード規制設定]をクリックします。

[書き込みキーワード規制設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更する書き込みキーワード規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

[5] ルール情報を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

11-5 書き込みキーワード規制ルールを複製する

登録した書き込みキーワード規制ルールを複製する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[書き込みキーワード規制設定]をクリックします。

[書き込みキーワード規制設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、複製する書き込みキーワード規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

- [4] ルール情報を変更します。

- [5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

11-6 書き込みキーワード規制ルールを削除する

登録した書き込みキーワード規制ルールを削除する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[書き込みキーワード規制設定]をクリックします。

[書き込みキーワード規制設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、削除する書き込みキーワード規制ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [ルール情報]タブをクリックします。

- [4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

書き込みキーワード規制ルールが削除され、[書き込みキーワード規制設定]に戻ります。選択しているグループ内の書き込みキーワード規制ルールがすべて削除されると、「書き込みキーワード規制ルールが存在しません。」と表示されます。

12 規制画面の設定

- 規制画面で使用する画像、メッセージのカスタマイズ方法についてご確認ください。

12-1 規制画面ルールを登録する

規制画面ルールを登録します。

- [1] [個別アクセス管理]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

- [2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

- [3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ? < > | ")は使用できません。

- [4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

[6] 登録したルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

12-2 規制画面を設定する

規制画面に表示する画像、規制メッセージを設定します。

[1] [個別アクセス管理]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、規制画面を設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [規制画面設定]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[規制画面設定編集]が表示されます。

[5] 規制画面に表示する画像、規制メッセージを設定します。

画像設定	<p>規制画面に表示する画像を選択します。</p> <p>新たに画像をアップロードして使用する場合、[新たに画像をアップロードして使用する]ラジオボタンをオンにし、画像ファイルのパスとファイル名を入力します。</p> <p>[参照]ボタンをクリックすると、[アップロードするファイルの選択]画面が別ウィンドウで表示されます。一覧からファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックすると、選択したファイルのパスとファイル名が設定されます。</p> <p>アップロードできる画像の形式は GIF、サイズは幅 250 ピクセル × 高さ 100 ピクセルです。</p>
メッセージ設定(カテゴリ共通)	<p>カテゴリ共通の規制メッセージを設定します。</p> <p>設定しない場合は、デフォルトのメッセージを使用します。</p> <p>規制メッセージは、全角文字、半角英数字、半角記号を使用して、最大半角 128 文字まで入力できます。</p>
メッセージ設定(カテゴリ単位)	<p>カテゴリ別の規制メッセージを設定します。</p> <p>[サブカテゴリ単位で設定]チェックボックスをオンにすると、サブカテゴリ別の規制メッセージを設定できます。</p> <p>規制メッセージは、全角文字、半角英数字、半角記号を使用して、最大半角 128 文字まで入力できます。</p>

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

12-3 規制画面ルールをグループに適用する

規制画面ルールの適用方法について説明します。

[1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。

[グループ管理]が表示されます。

[2] [適用ルール]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

[3] [ルール選択]ボタンをクリックします。

[適用ルール選択]が表示されます。

[4] 適用ルールを選択します。

所有グループ ルール名	規制画面ルールを所有しているグループ名とルールを選択します。[確認]ボタンをクリックすると、選択した規制画面ルールの詳細が画面の下部に表示されます。
----------------	--

[5] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

12-4 規制画面ルールを変更する

登録した規制メッセージを変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、規制画面を変更するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [規制画面設定]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[規制画面設定編集]が表示されます。

[5] 規制画面の設定を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

12-5 規制画面ルールのルール情報を変更する

登録した規制画面ルールのルール情報を変更する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更する規制画面ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [ルール情報]タブをクリックします。

- [4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

- [5] ルール情報を変更します。

- [6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

12-6 規制画面ルールを複製する

登録した規制画面ルールを複製する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、複製する規制画面ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

- [4] ルール情報を変更します。

- [5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

12-7 規制画面ルールを削除する

登録した規制画面ルールを削除する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[規制画面設定]をクリックします。

[規制画面設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、削除する規制画面ルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [ルール情報]タブをクリックします。

- [4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

規制画面ルールが削除され、[規制画面設定]に戻ります。選択しているグループ内の規制画面ルールがすべて削除されると、「規制画面ルールが存在しません。」と表示されます。

13 規制オプションの設定

- 一時解除時間の設定や、カテゴリに該当するすべてのサイトへの書き込みを規制するなどのオプション機能の設定方法をご確認いただけます。

13-1 規制オプションルールを登録する

規制オプションルールを登録します。

[1] [個別アクセス管理]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

[2] [所有ルール一覧]-[ルールを追加]をクリックします。

[ルール情報登録]が表示されます。

[3] ルール名を入力します。

ルール名は最大半角 20 文字以内で入力します。タブ記号、半角記号(¥ / ; ; ? < > | ")は使用できません。

[4] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

「保存が完了しました。」と表示されて、ルールが登録されます。

13-2 規制/一時解除を設定する

規制/一時解除の設定方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、規制オプションを設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [規制/一時解除設定]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[規制/一時解除設定編集]が表示されます。

[5] 規制/一時解除を設定します。

[動作設定]

IP アドレス規制	<p>[IP アドレスのリクエストを規制する]チェックボックスをオンにすると、IP アドレスを使用した URL(http://192.168.1.1/など)を規制します。</p> <p>一時解除方法については、[一時解除方法]プルダウンメニューより、「不可」、「可能(パスワードあり)」、「可能(パスワードなし)」を選択できます。</p>
一括書き込み規制	<p>[すべての書き込みリクエストを規制する]チェックボックスをオンにすると、未分類を除くカテゴリに該当したすべての書き込みリクエストを規制します。</p> <p>一時解除方法については、[一時解除方法]プルダウンメニューより、「不可」、「可能(パスワードあり)」、「可能(パスワードなし)」を選択できます。</p>
一括一時解除	<p>[カテゴリによって規制されたすべてのリクエストを一時的に解除可能とする]チェックボックスをオンにすると、カテゴリ設定によって規制されているすべてのリクエストを一時解除します。</p> <p>一時解除方法については、[一時解除方法]プルダウンメニューより、「可能(パスワードあり)」、「可能(パスワードなし)」を選択できます。</p>
マルチパートリクエスト規制	<p>[マルチパート形式のリクエストを規制する]チェックボックスをオンにすると、マルチパート形式の POST リクエストを規制します。データのアップロードが可能な掲示板や、Web メールサービスでの添付ファイル付きメールの送信など、テキストとバイナリデータを同時に送信する書き込み(POST リクエスト)を規制できます。</p>

[一時解除設定]

解除時間	一時解除する時間(1 秒～86,400 秒)を設定します。
パスワード	一時解除に使用するパスワードを最大半角 20 文字で設定します。

注意:

- パスワードには、半角英数字および次の記号を使用できます。
!#\$%&'()=^_{+}~-@[].*</>|
- パスワード未設定で一時解除方法に「一時解除可能(パスワードあり)」を設定した場合は、「一時解除不可」と同じ状態になります。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

13-3 書き込み許容サイズを設定する

書き込み許容サイズの設定方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、規制オプションを設定するルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [書き込み許容サイズ]タブをクリックします。

- [4] [編集]ボタンをクリックします。

[書き込み許容サイズ設定編集]が表示されます。

- [5] 書き込み許容サイズを設定します。

全てのカテゴリに同じサイズを設定する	設定した値を書き込み許容サイズとして、全カテゴリに適用する場合に選択します。 書き込み許容サイズ(byte 単位)を設定してください。 設定したサイズを超える書き込みが規制対象となります。「0byte」に設定した場合には、すべての書き込みが規制対象となります。
カテゴリ単位でサイズを設定する	設定した値を書き込み許容サイズとして、カテゴリごとに適用する場合に選択します。 書き込み許容サイズ(byte 単位)を設定してください。 [サブカテゴリ単位で設定]チェックボックスをオンにすると、サブカテゴリごとに書き込み許容サイズを設定できます。 設定したサイズを超える書き込みが規制対象となります。「0byte」に設定した場合には、すべての書き込みが規制対象となります。

- [6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [7] [OK]ボタンをクリックします。

設定した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

13-4 規制画面オプションルールをグループに適用する

規制画面ルールの適用方法について説明します。

- [1] [グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]をクリックします。

[グループ管理]が表示されます。

- [2] [適用ルール]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

- [3] [ルール選択]ボタンをクリックします。

[適用ルール選択]が表示されます。

[4] 適用ルールを選択します。

規制オプションルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択した規制オプションルールの詳細が画面の下部に表示されます。

[5] [適用]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

13-5 規制オプションルールのルール情報を変更する

登録した規制オプションルールのルール情報を変更する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、ルール情報を変更する規制オプションルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [ルール情報]タブをクリックします。

[4] [編集]ボタンをクリックします。

[ルール情報編集]が表示されます。

[5] ルール情報を変更します。

[6] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[7] [OK]ボタンをクリックします。

変更した内容が保存され、[ルール詳細]に戻ります。

13-6 規制オプションルールを複製する

登録した規制オプションルールを複製する方法について説明します。

[1] [個別アクセス管理]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

[2] 所有ルール一覧から、複製する規制オプションルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

[3] [このルールを複製]をクリックします。

[ルール情報複製]が表示されます。

[4] ルール情報を変更します。

[5] [保存]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[6] [OK]ボタンをクリックします。

ルールが複製され、[ルール詳細]が表示されます。

13-7 規制オプションルールを削除する

登録した規制オプションルールを削除する方法について説明します。

- [1] [個別アクセス管理]-[規制オプション設定]をクリックします。

[規制オプション設定]が表示されます。

- [2] 所有ルール一覧から、削除する規制オプションルールをクリックします。

[ルール詳細]が表示されます。

- [3] [ルール情報]タブをクリックします。

- [4] [削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

- [5] [OK]ボタンをクリックします。

規制オプションルールが削除され、[規制オプション設定]に戻ります。選択しているグループ内の規制オプションルールがすべて削除されると、「規制オプションルールが存在しません。」と表示されます。

14 URL カテゴリ確認

- 特定の URL が規制データベースに登録されていることの確認ができます。登録されていない URL の登録申請方法や、登録されたカテゴリを変更したい場合の申請方法についてもご確認いただけます。

14-1 URL カテゴリ確認

[1] [ホーム]-[URL カテゴリ確認システム]をクリックします。

[URL カテゴリ確認システム]が表示されます。

[2] 検索条件を入力します。

- 製品バージョンに[8.5SP1]を選択します。
- URL 覧に画面上の例に習って検索対象の URL を入力します。

[3] [カテゴリ確認]ボタンをクリックします。

[確認の結果]が表示されます。

14-2 URL カテゴリ変更申請

URL カテゴリ確認の結果、カテゴリ分類に誤りがある場合、またはカテゴリの削除依頼をする場合

[1] URL カテゴリの確認の結果から[申請画面]ボタンをクリックします。

[2] メールアドレスを入力します。

[3] カテゴリを入力します。

- 変更する場合は変更対象となるカテゴリを選択します。
- 削除する場合は[削除]を選択します。

[4] [申請]ボタンをクリックします。

申請確認のポップアップが表示されますので[はい]をクリックします。結果については入力したメールアドレス宛に通知されます。

14-3 規制 URL の申請

指定 URL の登録がデータベースにない場合に対象の URL を規制したい場合は規制 URL の申請をします。

[1] URL カテゴリの確認の結果から[申請画面]ボタンをクリックします。

[2] メールアドレスを入力します。

[3] [登録]ボタンをクリックします。

登録確認のポップアップが表示されますので[はい]をクリックします。結果については入力したメールアドレス宛に通知されます。

15 アクセスログの管理

- アクセスログの閲覧・ダウンロード方法やログフォーマットについての説明をご確認いただけます。

15-1 現在のアクセスログを閲覧する

現在記録中のアクセスログの内容を最新行から最大 1000 行分まで閲覧できます。

- [1] [ログ管理]-[アクセスログ]をクリックします。

所属グループの[アクセスログ]に[現在のログ]および[ローテート済みのログ]が表示されます。

- [2] [現在のログ]および[ローテート済みのログ]で、アクセスログの一覧を確認します。

現在のログファイル一覧、ローテート済みのログファイル一覧を、タイトル行をクリックしてそれぞれ昇順に並び替えることができます。ソート項目は、[ログファイル名]、[サーバ名]、[サイズ[Mbyte]]、[更新日時]のタイトル行から選択できます。

選択されたソート項目は、△(昇順)で表示されます。

- [3] [現在のログ]で、閲覧するログファイル名をクリックします。

[ログ閲覧]画面が別ウィンドウで表示されます。

サーバ名	アクセスログ出力対象のサーバ名を表示します。
ファイル名	表示中のアクセスログファイル名を表示します。

- [4] 表示する行数を選択し、[表示]ボタンをクリックします。

行数はログの末尾から[100 行]、[500 行]、[1000 行]を選択できます。表示されるログは末尾の行ほど、新しいログになります。

- [5] [閉じる]ボタンをクリックします。

[ログ閲覧]画面を閉じ、[アクセスログ]のアクセスログの一覧に戻ります。

15-2 ローテート済みアクセスログをダウンロード、削除する

ローテート済みアクセスログは、TSV(タブ区切り)ファイルでダウンロードできます。また、不要なローテート済みアクセスログを削除できます。ログは約 1 か月分保持され、古いものから順に自動で削除されます。

[1] [ログ管理]-[アクセスログ]をクリックします。

所属グループの[アクセスログ]に[現在のログ]および[ローテート済みのログ]が表示されます。

[2] [現在のログ]および[ローテート済みのログ]で、アクセスログの一覧を確認します。

現在のログファイル一覧、ローテート済みのログファイル一覧を、タイトル行をクリックしてそれぞれ昇順に並び替えることができます。ソート項目は、[ログファイル名]、[サーバ名]、[サイズ[Mbyte]]、[更新日時]のタイトル行から選択できます。

選択されたソート項目は、△(昇順)で表示されます。

[3] [ローテート済みのログ]で、ダウンロードまたは削除するアクセスログのチェックボックスをオンにします。

- タイトル行のチェックボックスをオンにすると、すべてのチェックボックスがオンになります。
- タイトル行のチェックボックスをオフにすると、すべてのチェックボックスがオフになります。

[4] [ダウンロード]ボタンまたは[削除]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

[5] [OK]ボタンをクリックします。

- [ダウンロード]ボタンをクリックした場合、選択したアクセスログがダウンロードされます。
- [削除]ボタンをクリックした場合、選択したアクセスログが削除されます。

15-3 アクセスログのフォーマット

```
2015/07/09 09:36:24 HTTP 2001:298:927f::xx CF99999-9999 - - Allowed - - news.bit-drive.ne.jp 0 0 0 text/html -
データベースマッチ IT サービス\IT - - - http://news.bit-drive.ne.jp/index.html - - -
```

- 以下の TSV(タブ区切)になっています。
 - 『日付,時刻,プロトコル,クライアントアドレス,グループ名,(未使用),(未使用),転送状態,(未使用),(未使用),リクエスト先サーバホスト名,(未使用),(未使用),(未使用),ファイルタイプ,(未使用),判定理由,判定カテゴリ,(未使用),(未使用),(未使用),リクエスト URL,(未使用),(未使用),(未使用)』
- 転送状態の出力内容は下記のとおりです。

出力内容	説明
Confirm	ポリシーで規制されたリクエスト(一時解除ボタンあり)
Blocked	ポリシーで規制されたリクエスト(一時解除ボタンなし)
Allowed	URLDB に該当したがポリシーで許可されたリクエスト
Release	一時解除機能によって転送したリクエスト
CfmPost	書き込み規制によって規制されたリクエスト(一時解除ボタンあり)
BlkPost	書き込み規制によって規制されたリクエスト(一時解除ボタンなし)

- 判定理由として出力する内容と判定カテゴリ、登録カテゴリ

出力内容	説明
データベース更新中	データベース更新中のリクエスト
ブラウザ規制	ブラウザ規制対象のリクエスト
HTTPS 規制	HTTPS 規制対象のリクエスト
ポート番号規制	ポート番号規制対象のリクエスト
IP アドレス規制	IP アドレス規制対象のリクエスト
検索キーワード規制¥XXX	検索キーワード規制対象のリクエスト (XXX は規制したキーワード)
マルチパートリクエスト規制	マルチパートリクエスト規制対象のリクエスト
書き込みキーワード規制¥XXX	書き込みキーワード規制対象のリクエスト (XXX は規制したキーワード)
一括書き込み規制	一括書き込み規制対象のリクエスト

セキュリティ	セキュリティカテゴリにマッチ
データベースマッチ	URL データベースにマッチしたことによる規制
許可カテゴリ¥許可カテゴリ	「許可カテゴリ¥許可カテゴリ」対象のリクエスト
許可カテゴリ¥閲覧のみ許可	「許可カテゴリ¥許可カテゴリ」対象のリクエスト
優先カテゴリ	「優先カテゴリ」に判定されたリクエスト
未分類 URL	未分類 URL に該当したリクエスト

- ファイルタイプは、ファイルタイプが特定された場合のみ出力されます。
本サービスでは記録されない項目については(未使用)となります。なお、カテゴリに登録されていない URL へのアクセスの場合はアクセスログに記録されません。

16 サービスを利用するための設定

16-1 プロキシサーバがある場合の設定

[1] 社内プロキシの設定

社内プロキシは上位プロキシに以下を指定してください。

アドレス : proxy.filter.bit-drive.ne.jp

ポート : 8080

- 可能な限り社内プロキシから管理サーバへは、直接アクセスするように設定してください。
- 社内プロキシで squid を使用されている場合の追加設定例は以下のとおりです。

```
cache_peer proxy.filter.bit-drive.ne.jp parent 8080 0
acl Safe_ports port 80 21128
acl SSL_ports port 443
acl www_filter_server dstdomain www.filter.bit-drive.ne.jp
always_direct allow www_filter_server
never_direct allow all
```

- 社内サイトへの通信に社内プロキシを経由させなければならない場合は、以下の設定を追加してください(アドレスなどは環境に合わせてください)。

```
acl local-servers dst 192.168.0.0/16
always_direct allow local-servers
```

注意:

- 上位プロキシとして弊社マネージドイントラネットをご利用のお客さまは、マネージドイントラネットのオンラインマニュアルをご覧ください。
[オンラインマニュアル目次]-[システム管理メニュー]-[サービスサーバ]-[サーバ設定]
-[プロキシ]-[上位プロキシ]からご確認いただけます。

16-2 プロキシサーバがない場合の設定(例:Windows Internet Explorer)

注意:

Web コンテンツフィルタサービスは、お客さまからお知らせいただいた IP アドレスのみで利用可能になるよう IP アクセス制限を行っております。

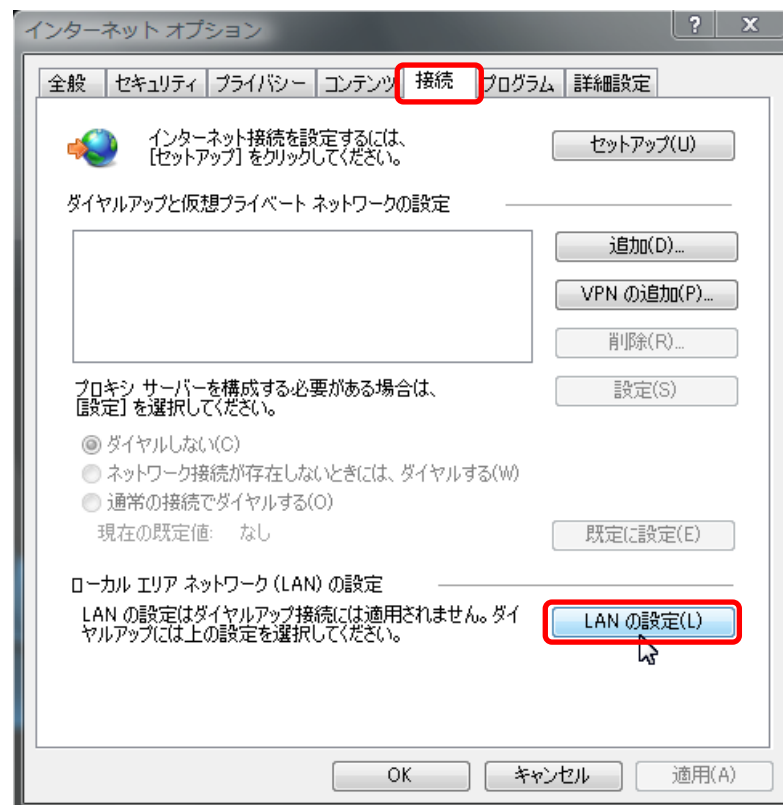
許可設定されていない IP アドレスからはサービス利用ができませんので、サービス利用申し込み時には、お客さまから Web コンテンツフィルタにアクセスされる際の固定 IP アドレスをお知らせいただけますようお願いいたします。

また、動的の IP アドレスサービスの回線を利用される場合は、弊社営業担当者までご相談をお願いいたします。

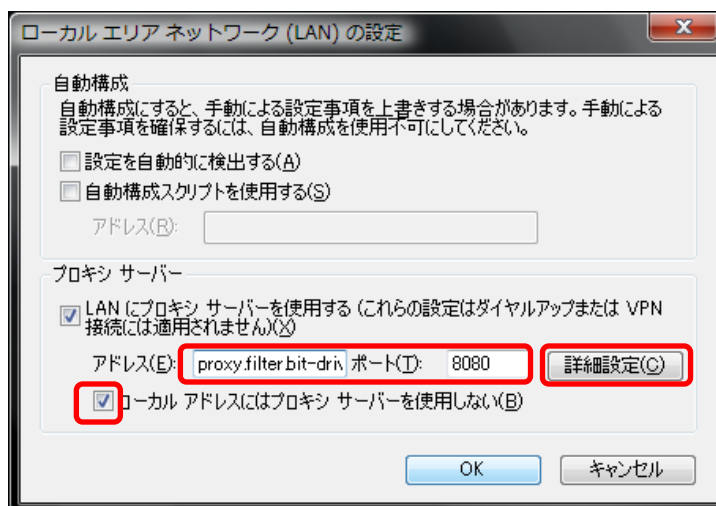
(UTM サービスやインターネットゲートウェイサービス、VPN サービスなどの組み合わせでご利用可能になります)

[1] 本サービスを利用するクライアント PC にて Windows Internet Explorer を起動します。

[2] 「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」タブ→「LAN の設定」をクリックします。



- [3] 「LAN にプロキシサーバを使用する」にチェックを入れます。
- [4] 「アドレス」に「proxy.filter.bit-drive.ne.jp」を入力します。
- [5] 「ポート」に「8080」を入力します。
- [6] 「ローカルアドレスにはプロキシサーバを利用しない」にチェックをします。
- [7] 「詳細設定」をクリックします。



[8] 「すべてのプロトコルに同じプロキシサーバを使用する」をチェックします。

[9] 「例外」に社内サイトのアドレスを入力します。

- 企業管理者は、「www.filter.bit-drive.ne.jp」を入力してください。

[10] 「OK」をクリックします。

- その他のブラウザをお使いの方は、各ブラウザのマニュアルをご確認ください。

